



# 豊明市における 地域包括ケアモデル事業（２年目）の取組 （医療・介護等一体提供モデル）

豊明市役所  
健康福祉部 高齢者福祉課  
地域ケア推進担当係長 松本 小牧

藤田保健衛生大学  
地域包括ケア中核センター  
講師 都築 晃



- ・愛知県のほぼ中央に位置する名古屋市のベッドタウン。
- ・人口68,609人（28,718世帯）  
うち、高齢者人口 16,720人  
(平成27年10月1日現在)
- ・高齢化率 **24.3%**（地域差あり）
- ・総人口は減少傾向で推移。  
年少人口、生産年齢人口とも減少する一方で、高齢者人口は増加。

## ■ 豊明市の保健・医療に関する社会資源

病院3（藤田保健衛生大学病院、桶狭間病院藤田こころケアセンター、豊明栄病院）  
医療機関39、歯科医療機関39、薬局25、訪問看護3、訪問リハビリ3

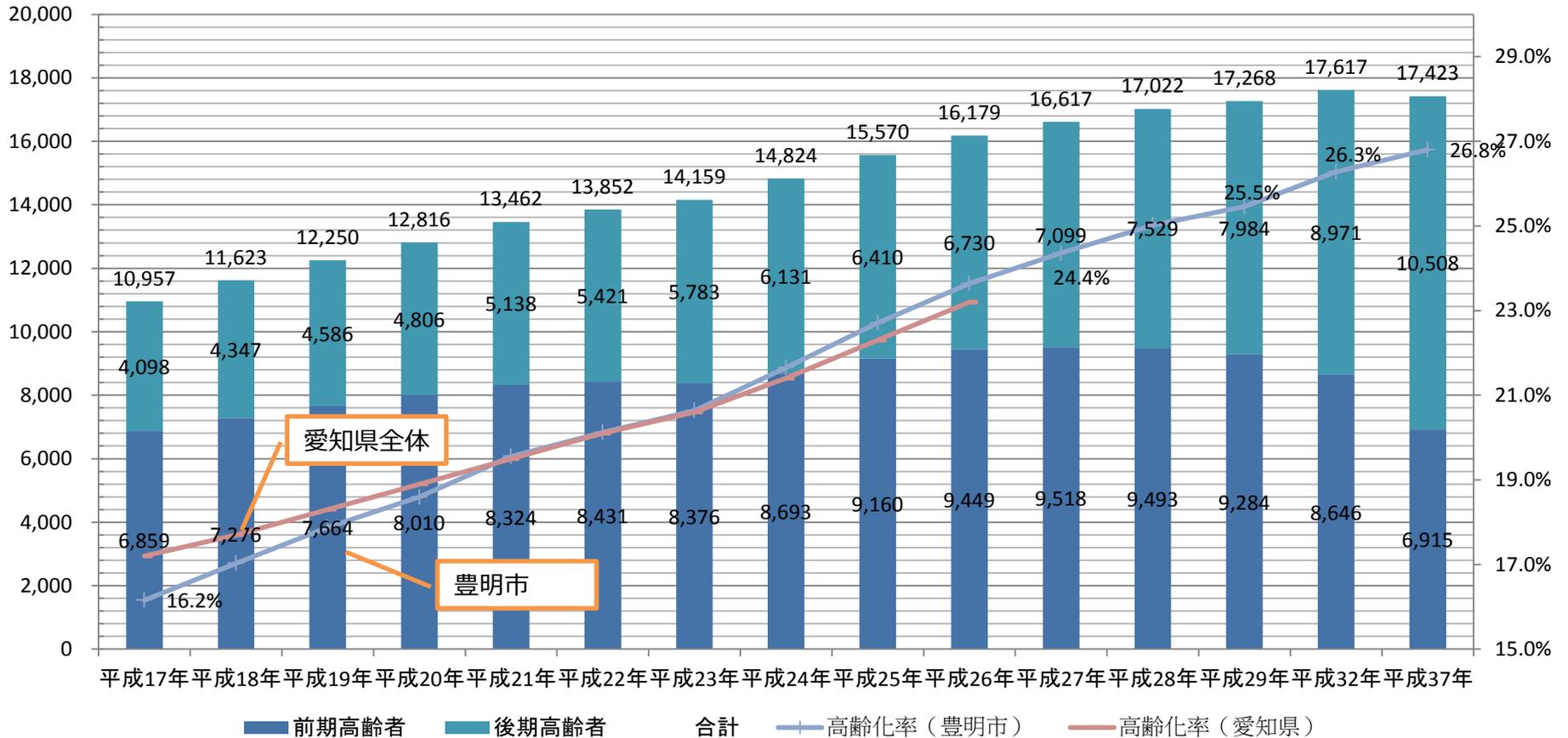
- ◆ 医師会 : 東名古屋豊明市医師会
- ◆ 薬剤師会 : 日進東郷豊明薬剤師会

- ◆ 歯科医師会 : 愛豊歯科医師会豊明支部

## ■ 豊明市の介護・福祉に関する社会資源

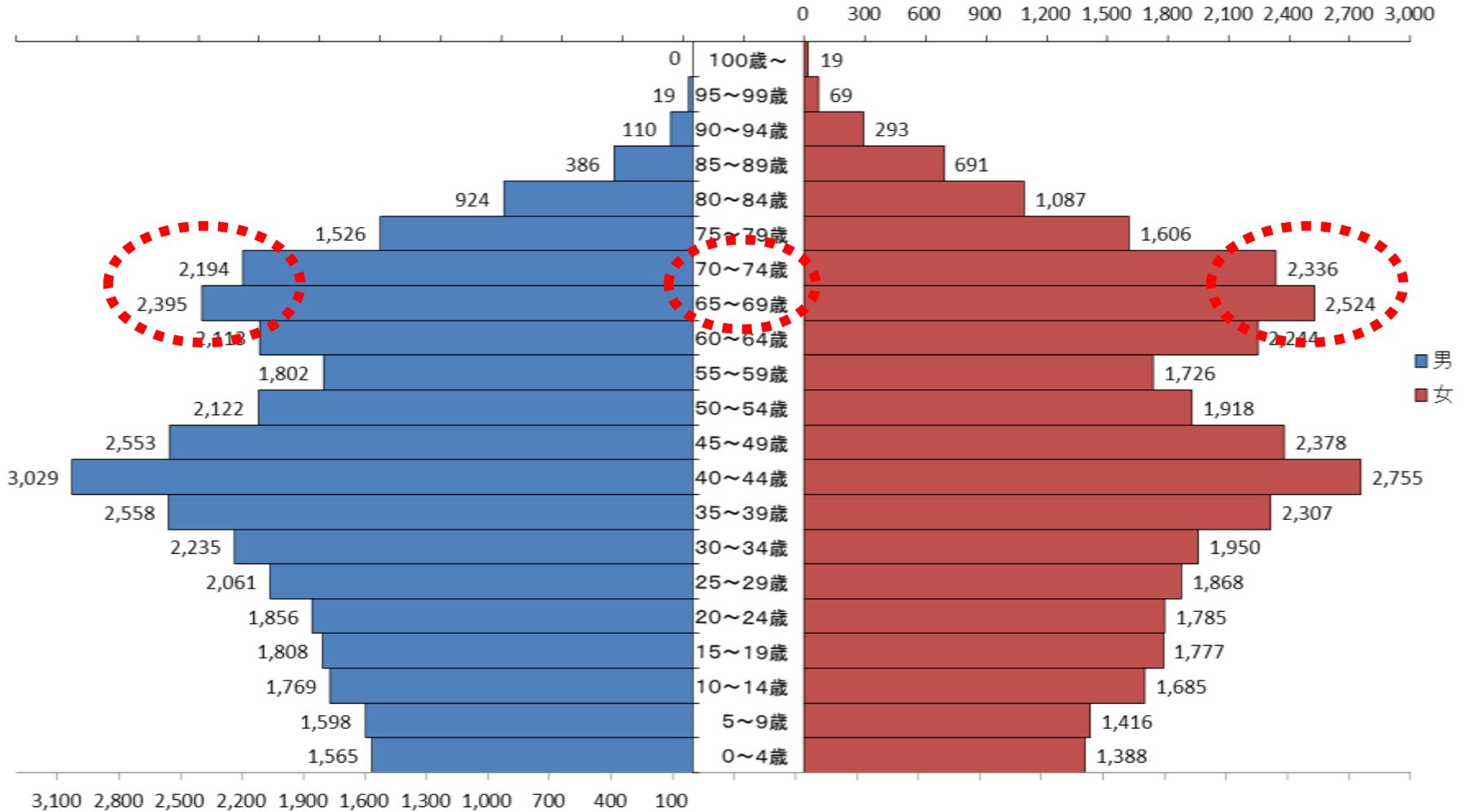
地域包括支援センター2（H24より委託）、特別養護老人ホーム4、老人保健施設2  
特定施設2、小規模多機能居宅介護1、認知症対応型共同生活介護3  
居宅介護支援事業所10

## 豊明市の高齢者数将来予測



豊明市の高齢化率は、平成24年度から愛知県全体と逆転。特に、今後、数年の推計は、後期高齢者の伸びが著しく、高齢者の46.2%となる見込み。

要介護（要支援）認定者数は、毎年80～160人程度増加しており、認定率は13.9%、要介護（要支援）認定者数は2,312人となっています。



本市は、この5年～10年の間に後期高齢者となる世代が多い。介護サービス利用人口が急激に増えていく「転換期」である。

## 愛知県地域包括 ケアモデル事業

(H26.4～H29.3 3ヶ年事業)  
医療・福祉一体提供モデルとして実施

豊明市北部地域をモデル地区とし  
藤田保健衛生大学とともに事業展開

豊明団地における取り組み  
＝けやきいきいきプロジェクト



介護保険 地域支援事業と  
して在宅医療・介護連携推  
進事業を強化

## 愛知県在宅医療連携拠点推進事業 (H26.1～H27.3 15ヶ月事業)

- ・地域包括ケア連絡協議会の設置
- ・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成  
研修事業の実施
- ・ICT「いきいき笑顔ネットワーク」による連携推進
- ・ICTネットワークと見守りセンサーを活用した見守りサポ  
ート事業の実施 など

## 愛知県多職種協働による在宅チーム医療を担う 人材育成研修 モデル事業 (H26.1～H27.3 15ヶ月事業)

豊明市北部地域における地域包括ケアの取り組み

豊明市全体における在宅医療・介護連携推進に関する取り組み

東名古屋医療圏域（豊明市・東郷町・日進市・長久手市）における在宅医療・介護連携推進に関する取り組み

# 愛知県地域包括ケアモデル事業

## 医療・福祉一体提供モデル

### 目指すべき地区の状態

- 同一法人で設置された病院、在宅療養支援診療所、訪看、介護事業所等が相互に連携し、患者情報を共有しながら、在宅の療養者に対し、医療、介護が一体的に提供されている。
- 見守りや配食、買い物などの生活支援サービスは法人外部に依頼し、いつでも利用できる。
- 介護予防や健康づくりが積極的に行われている。
- 自宅では暮らせない状態になった場合の転居先が確保されている。

必須タスク	モデル事業の取組み年度
マネジメント・調整	平成26年度
医療と介護の連携	
介護	平成27年度
予防	
生活支援	平成28年度
住まい	

## 豊明市地域包括ケア連絡協議会

地域包括ケア体制構築に向けた各部会の取組状況の報告と課題の検討  
平成26年4月設置 地域ケア会議の施策検討レベル会議として位置づけ

### 代表者会議

#### 多職種人材育成研修 プログラム検討会

多職種連携や人材育成研修内容の協議  
〔藤田保健衛生大学に委託〕

#### 同職種勉強会

ケアマネ

訪問看護

訪問リハビリ

#### ICT医療福祉 連携部会

#### いきいき笑顔ネットワーク 運営委員会

#### 定例ミーティング

名古屋大学医学部附属病院先端医療臨床研究支援センターサポートのもと、具体的取組について検討

#### 入退院 調整部会

病院から在宅生活への移行時の関係機関同士の連絡調整等について情報共有・体制整備

#### 見守り生活 支援部会

見守り・生活支援の具体的なサービスや取組みについて、市民参加のもと検討

#### 見守り生活支援 協議体

同職種による情報共有  
医師会等の他団体との組織連携等





◆ **2年目の前半期の取り組み**  
**～市全体から～**

## **①新しい総合事業移行に向けての準備**

### **その1 移行時期の前倒し→年度内移行を決定**

当初予定の平成29年1月移行から平成28年3月移行へ前倒しを決定、  
ただ今急ピッチで準備中。

#### **◆取り組み内容**

##### **・要支援者のサービス利用傾向の把握・分析**

利用者はどこに流れているのか？どんなサービスが好まれているのか？

##### **・地域包括支援センターとの協議（月1回開催）**

##### **・新たなサービス提供主体との協議**

##### **・移行方針の立案**

切り替えのタイミング、サービスの種類、ケアプランのあり方

# ①新しい総合事業移行に向けての準備

## その2 介護予防事業の整理と強化



総合事業移行後の介護予防事業のあり方を描き  
従来の事業を整理、より住民に近いところで予防事業が展開できるよう準備

### ◆取り組み内容

#### ・介護予防事業の体系整理

移行後のサービス事業から一般介護予防事業への利用の流れをイメージし、二次・一次予防事業を整理

#### ・住民活動の支援

サロン活動の支援（地域サロン交付金）  
地域リハビリテーション活動支援

#### ・普及啓発用オリジナル体操開発

リハ職及び介護予防リーダー等と  
オリジナル体操開発中



## ②新しい包括支援事業の取り組み

### その1 認知症初期集中支援チーム設置準備

平成28年度設置に向け、実施体制を構築、試行的に運用開始  
次年度の本稼働に向け、実際のケースを通じて体制を検証

#### ◆取り組み内容

- ・認知症初期集中支援チーム員研修への派遣  
研修内容を多職種で共有
- ・ケースをモデル的に支援  
ケース支援においては、ICT  
(電子連絡帳) を活用



## ②新しい包括支援事業の取り組み

### その2 在宅医療・介護連携推進事業

ICT基盤整備、多職種人材育成研修の実施等の次なる段階として急性期医療からのシームレスな退院患者支援の在り方を模索

#### ◆取り組み内容

##### ・退院支援地域連携実証事業

藤田保健衛生大学病院に入院中で、新規要介護認定申請ケースについてモデル的に支援

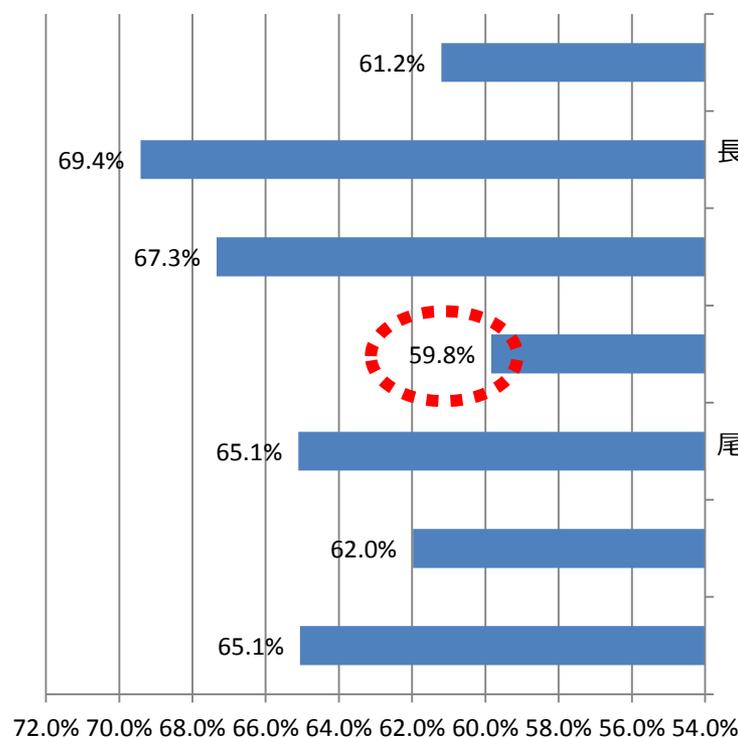
##### ・在宅医療介護連携拠点整備検討

地域の医療介護連携の拠点となるセンターの在り方（場所・運営主体・業務内容）の検討

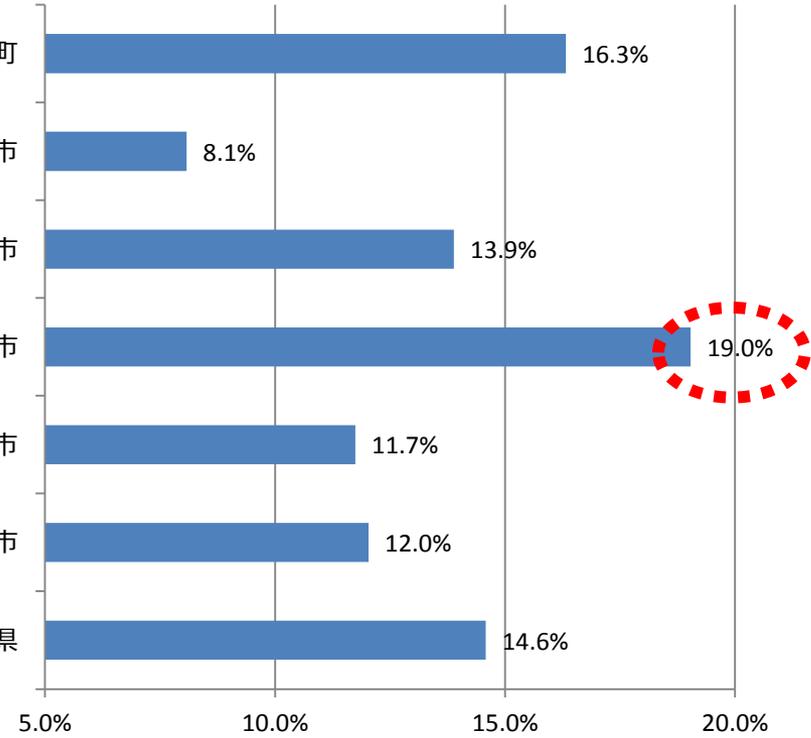


## 参考) 在宅・施設サービス利用の比較

### 在宅サービス



### 施設サービス



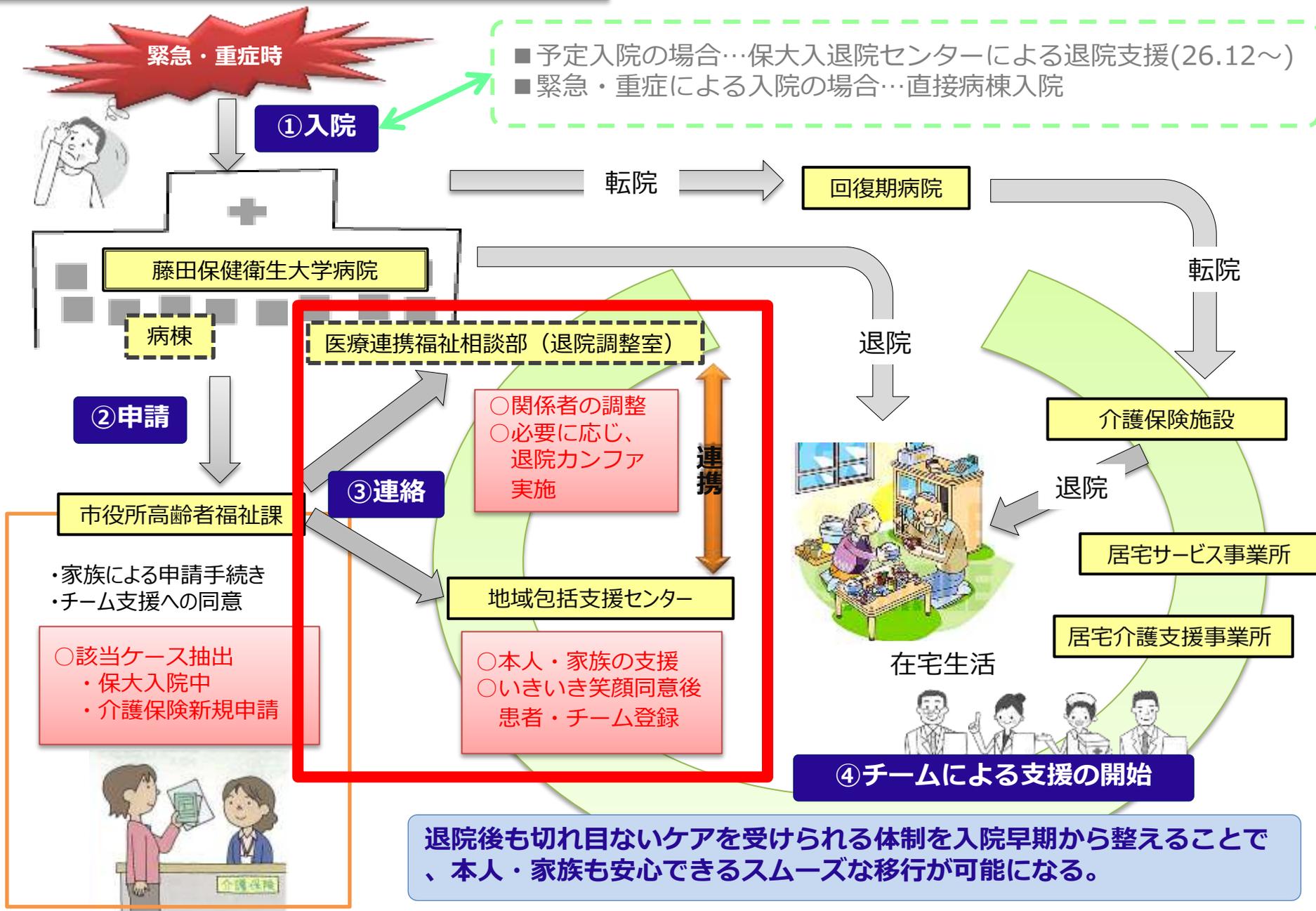
参照) 平成26年9月月報

利用者数÷認定者数で算出。

豊明市は、他市と比較して在宅サービス利用率が低く、施設サービス依存が高い傾向。

施設サービスが充実しており、入所しやすい一方、本人意思に関わらず、安易に入所の傾向も。

# 平成27年度 モデル的な取組み（概念図）



# 参考) いきいき笑顔ネットワークの概要



## いきいき笑顔ネットワークの現在までの経過

- 平成23年2月～ 試験運用開始
- 平成23年10月～ 地域正式導入
- 平成25年9月～ 自立的運用開始  
(行政・3師会との協定締結)
- 平成26年6月～ ICT見守りサポート事業の開始

在宅療養高齢者を中心とした  
医療福祉連携と見守り支援にネットワーク利用展開

## いきいき笑顔ネットワークの利用・登録状況

患者登録者数 440人  
(参考) 豊明市の介護認定者数 2,312人  
今までの患者登録記事数 6,107件【平成27年9月末】

- 登録医療機関・介護関係機関 117事業所
- ・医院
  - ・歯科医院
  - ・薬局
  - ・居宅介護支援事業所
  - ・老健施設
  - ・藤田保健衛生大学病院
  - ・行政・包括
  - ・障がい者相談支援センター
  - ・訪問看護ステーション など



## ②新しい包括支援事業の取り組み

### その3 生活支援体制整備事業

高齢化に対応する住民主体の地域づくりの機運を醸成するため  
地域へのアウトリーチと地域資源の把握を重点的に展開

#### ◆取り組み内容

- ・見守り生活支援に関する協議会の開催  
第1層部分の会議を計5回開催
- ・住民の見守り活動・生活支援活動の支援  
積極的に地域に出向き、各地域で機運を醸成
- ・民間事業者との見守り協定の締結  
金融機関、新聞店、郵便局、コンビニ
- ・第1層生活支援コーディネーターの養成



# 藤田保健衛生大学





**◆ 2年目の前半期の取り組み**  
**～地域包括ケアを担う人材育成～**

# 藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター

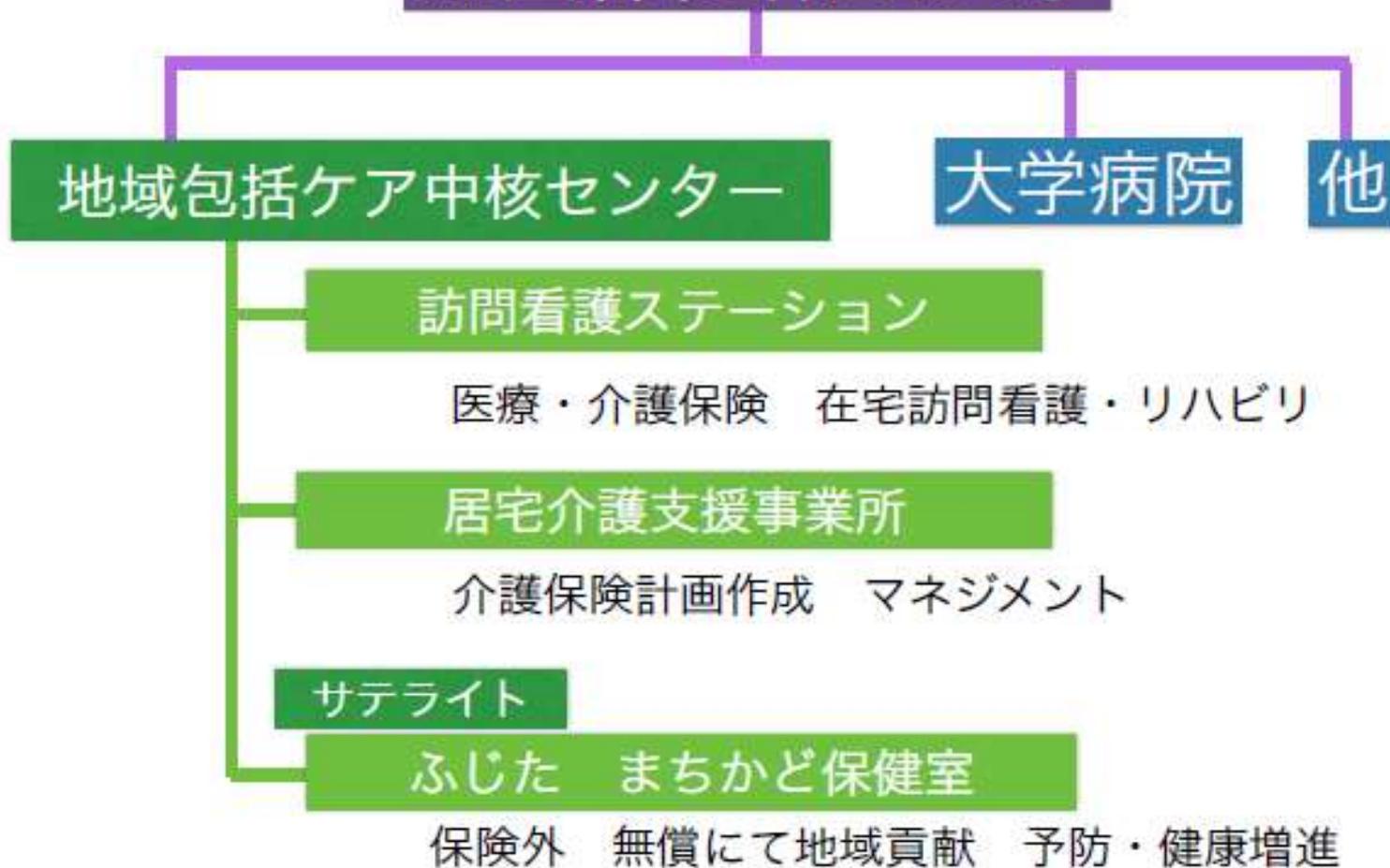
2013年2月1日、全国初「学校法人」による  
介護保険事業設置許可  
居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションを設置

24時間 365日体制で、重症やがん末期の訪問看護・リハビリも担う



# 学園内組織における位置づけ

## 藤田保健衛生大学



# 事業所の概要

- 居宅介護支援事業所
- 訪問看護ステーション
- スタッフ 28名 (センター長含む)  
非常勤は全員が大学教員
- 営業時間 24時間緊急対応
- 営業範囲 半径 10km圏内

(通常のステーションは半径 3 - 5km)

2015.6.6 現在

	常勤	非常勤
看護師	7	7
PT/OT	4	2
薬剤師	-	1
ケアマネ	3	-
事務員	3 <sup>*2</sup>	-

\*1 全員が大学教員

\*2 1名は社会福祉士

# 人材育成



- 地域包括ケア在宅医療研究班  
団地内バリアフリーマップ作成  
独居高齢者約51名との交流食事会
- 実習生 リハ 110名 看護 112名
- 病棟看護師 同行訪問研修 62名
- 看護師研修 病院新人看護師研修
- 在宅医療人材育成事業（豊明市委託）  
研修会 4回、延べ 212名参加  
ケアマネ・訪問看護・訪問リハ 同職種会研修会  
研修会 1回、36名参加
- 地域包括ケアモデル事業（豊明市協働事業）  
体力測定会 3回 延べ 82名参加 健康教室 1回
- 見学者  
京都府立 近畿大学 北里大学 ほか多数



# 在宅医療人材育成研修会

昨年度研修会 全4回 延べ 212名参加

## 多職種協働による在宅チーム医療を担う 人材育成研修事業 〔藤田保健衛生大学への委託実施〕

- ・プログラム検討会 2回  
医療福祉多職種による検討会議
- ・研修会 4回  
がん療養、認知症、在宅歯科、薬剤支援  
CKDをテーマに講演、グループワーク  
懇親会
- ・同職種勉強会 2回  
ケアマネ、訪看、訪リハによる



【研修申込書】 2014年度 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会

【第2回 研修会】  
 開催日：10月24日(日) 10時～14時30分  
 開催場：藤田西工科大学  
 参加費：参加費無料

■プログラム  
 □講演「認知症ケアにおける多職種から在宅への連携支援について」  
 講師：法人 濱和典 高木弘治(水戸大学)、本野隆典(聖山)、渡辺 浩一  
 □講演「認知症ケアと在宅に向けての取り組み」  
 講師：藤田西工科大学 藤田西工科大学 ケアセンター 長崎 直道 看護長  
 □「認知症の認知検査」 講師：藤田西工科大学 看護部  
 □交流・グループワーク「認知症高齢者の在宅支援」における課題と解決策について  
 □懇親会、午別懇、懇親会(会場にて提供させていただきます。参加費200円)

【第3回 研修会】  
 11月10日(日)10時～14時30分 会場：藤田西工科大学  
 □「薬剤師としての在宅医療」  
 講師：藤田西工科大学 薬学部 藤田西工科大学 薬学部 藤田 浩一 准教授  
 □「訪問看護の現状と今後の展望」  
 講師：訪問看護センター  
 □「訪問看護の現状と今後の展望」 □交流・グループワーク □懇親会(会場にて提供させていただきます。参加費200円)

【第4回 研修会】  
 11月23日(日)14時～18時30分 会場：藤田西工科大学 看護部  
 □「認知症ケアの在宅医療」  
 講師：藤田西工科大学 看護部 藤田西工科大学 看護部 藤田 浩一 准教授  
 □「認知症ケアの在宅医療」 □交流・グループワーク □懇親会(会場にて提供させていただきます。参加費200円)

【第5回 研修会】  
 12月10日(日)14時～18時30分 会場：藤田西工科大学 看護部  
 □「認知症ケアの在宅医療」  
 講師：藤田西工科大学 看護部 藤田西工科大学 看護部 藤田 浩一 准教授  
 □「認知症ケアの在宅医療」 □交流・グループワーク □懇親会(会場にて提供させていただきます。参加費200円)

【研修申込書】  
 開催日：10月24日(日) 10時～14時30分  
 開催場：藤田西工科大学  
 参加費：参加費無料

【問合せ・申込先】 藤田保健衛生大学 地域包括ケア推進センター 人材・開発  
 問い合わせ先：TEL:0543(82)1111 FAX:0543(82)1111 E-mail:humo@fpu.ac.jp

# 2015年度人材育成研修会

## 今年の研修会の特徴

- ・ 市周辺の中核病院から豊明市内在宅医療介護機関への退院調整連携の構築へ  
(医療～介護～在宅～再入院まで継続調査)
- ・ リハビリテーション連携強化により、ケアプランへの適切なリハ導入と、介護保険卒業者と身体機能維持改善者増加へ  
(医療～介護～介護保険～サロン参加～在宅生活～家族指導までの連携)

# 地域潜在看護師・介護職等 復職支援コース設置

- ・ 目的  
市内診療所等や訪問看護師、その他、在宅医療介護を担う従事者の復職支援と人材発掘と育成。卒後早期からの在宅医療従事者の育成コースも設置予定。
- ・ 2015年度中に試験的实施。1日コースから3日、5日、10日など。
- ・ 保育施設との協力、医師会、地域介護機関、大学病院の支援等



# 地域のケア職種を組織化

- 職種ごとの同職種会設立。
- 代表者選出。同職種代表者は会議発言と、同職種会で会議結果報告の役割。
- 同職種共通課題の対策検討、3職種合同研修会開催。



地域の同職種代表者として、出席・発言し、決定事項の拡散



- ・ 同職種内で初めて交流
- ・ 他職種へ要望を伝えた
- ・ 自職種への要望がわかった
- ・ 上司に聞けない事が聞けた！



## 同職種会から 連絡協議会へ発展

- ・ 豊明市内 訪問看護同職種会と、訪問・通所リハビリテーション同職種会を連絡協議会に移行。職種間交流と研修人材育成。
- ・ 市町村の看護・リハビリ窓口担当者を設置。
- ・ 医師会、行政、地域包括からの要請に対応。各事業所の特徴を一覧にまとめて、市内医療介護機関に提示。
- ・ 市内の同職者にアンケートや情報収集。予定される在宅医療介護サポートセンターへの情報提供を支援。小規模職場などの職員に対しては業務相談などの対応。
- ・ 復職支援コースとの連携、職場体験などの実施。